

オハヨーたかねざわ

地域の新聞店が発行する地域情報紙（ローカルフリーペーパー） 2021年10月15日発行 #89



山崎新聞店

高根沢ローカルグルメと 高根沢産食材の魅力を知って 学校給食に高根沢焼ちゃんぽん登場



聖火トーチを持つモモタン

9月27日の学校給食に高根沢ローカルグルメの「高根沢焼ちゃんぽん」が提供されました。「高根沢産食材と高根沢ローカルグルメの魅力」を知ってもらおうと企画され、当日は新聞記者やテレビカメラも取材に訪れていました。

献立は高根沢焼ちゃんぽんの他に牛乳、花野菜サラダ、牛乳パン。中学生にはアロエヨーグルトがつけました。

感想を尋ねると西小1年生の男の子は「ちようまかった！と元気いっぱいの返事をしてくれました。特にどれが美味しかったですか？」の質問には隣の子が「せんぶ！」と答えてくれました。

特製ランチシート

今回は給食と共に特製ランチシートが配られました（左上写真）。描かれていたのは、海賊が発見した高根沢町の形にそっくりな島。御料牧場やグリーンパークに似た場所があったり、給食に出てくるメニューが「牛乳パンの丘」として描かれていたりと冒険心をくすぐるイラストです。

ランチシートは「町内幼稚園の造形講師」岩附清歌（いわつきさやか）先生の無償協力により実現しました。白黒とすることで塗り絵でも楽しめます。持ち帰った家庭の保護者から「すごいクオリティで驚きました」といった反応がありました。給食を楽しんでもらいたいという企画意図が伝わってくるようです。



聖火ランナーを務めた高根沢ちゃんぽん普及会のメンバー Nさんの後ろ姿



夕方や夜のニュース、翌日の新聞に載りました



取材に応える学校給食センター長 林さん

今回は「高根沢ちゃんぽん普及会」の呼びかけが契機となり、学校給食センターが「子どもたちのために」と応じて企画が実現しました。

「高根沢ちゃんぽんが地域に文化として根付くために、若い世代の人たちにもドンドン食べていただきたいと思っています。外食も控えられる状況が続きましたので、学校給食で美味しく提供していただけたことを嬉しく思います」（高根沢ちゃんぽん普及会 Nさん）

実は、高根沢ちゃんぽん普及会では、代表者が聖火ランナーとして選ばれていました。「高根沢町のPR活動・ちゃんぽんを通して地域間交流」といった普及会の活動が認められて、Nさんが今年3月にトーチを持って栃木県内を走りました。

給食提供日には応援に駆け付けたタンタンモモタンが、Nさんより預かった五輪聖火トーチを持ち、写真撮影に応じてくれました（右上写真）

「高根沢では美味しく安心安全な農産物がたくさん生産されています。学校給食センターでは、地産地消の推進を重点目標とし、JAしおのやや地元生産者等の協力を得つつ、高根沢町産の食材を使って、安心安全で美味しい学校給食を作るように努めています」（高根沢町立学校給食センター長 林博志さん）

高根沢氏と薩埵山合戦

先月号「静岡の宝積寺」続報

先月号の当紙で「静岡市にある宝積寺の副住職が高根沢町出身」であることなどをお伝えしました。高根沢町には宝積寺という名前の寺は現存しませんが、遠く離れた土地に実在する宝積寺とそんな偶然の結びつきがあることは驚きです。そして、この宝積寺が風光明媚な立地にあること、宝積寺の近くにある薩埵峠（さつたとうげ）は、浮世絵・東海道五十三次の一枚にもなった絶景の名所であることも記事で紹介しました。

この先月号記事をご覧になられた土屋佳雄先生が、高根沢町史に薩埵山で起こった興味深い出来事が載っていることを教えてくださいました。（土屋先生は町史の自然科学分野に携わっておられ、薩埵山にも何度か登ったこともあるそうです）

観応の擾乱

室町時代、幕府を開いた足利尊氏（たかうじ）と、その弟足利直義（ただよし）が二派に分かれて争っていました。宇都宮氏の家臣であった高根沢氏は、宇都宮氏が尊氏軍に加勢することとなったため、同じく参戦することになります。

薩埵山合戦

「東下する尊氏軍が陣を敷き、西上する直義軍と互いの命運をかけた戦った激戦の地の一つであり、この合戦に宇都宮氏下で後詰として参戦した高根沢氏が討死している」（高根沢町史通史編I 413頁）

討ち死にとの関連は？

高根沢氏が薩埵山の合戦で討ち死にしたのが1351年。宝積寺の開山（建立）が1745年の江戸時代。この二つの出来事に関係があるのか、それとも偶然なのか。宝積寺副住職に尋ねてみたところ「（討死のことは）初めて知りました。関係は特にはないのでは？と思います。自分個人としてはとても縁を感じます」とのことでした。（高根沢町史はネットで閲覧可）

大類和久 色えんぴつ画展 10/31まで

アミチロリン&ルイ
演奏会
大類和久・小口慶子

10/17 (日)
10/31 (日)
13:00~13:40



会場は和食レストラン麻希

とちまる安心認証店



【作家デュオによる生演奏会】
①十月十七日(日)
②十月三十一日(日)
十三時頃から約四十分間
※人数制限を設けるため、
予約のある方を優先
食事をしながら和洋のオール
デイーズの生演奏が楽しめます

- 展示期間 十月二日〜三十一日
- 時間は営業時間内
- 定休日・火曜日
- 入場無料・チケットなし
- 028・675・5181
- 高根沢町光陽台4・5・2

光陽台の和食レストラン麻希では、絵画や陶芸作家などの作品を店内に展示する催しを開いています。
今回は大類和久(おおるいかずひさ)氏による「色えんぴつ画展」。1枚の絵を描き上げるのに最低1ヶ月かかるという精緻な色鉛筆画が約二十点展示中です。
「ビートルズ好き」という大類さん。作詞作曲やギターの弾き語りなどの音楽歴は五十年。絵画には浮世絵風の世界にビートルズのメンバーが入り込んでいます。

高根沢在住作家 松本みさを氏 新著

9/14 発売

やっとうまると一緒に暮らせる！ 実家から愛犬のフレンチブルドッグを引き取り、念願の「ペット可」マンションに越してきた青年・猿渡大河。ところが、そこには、ある風変わりな「ルール」があったのでしたー。
ユニークすぎる住人たちと不思議なペットたちが住む「カセット緑ヶ丘」を舞台に起こる数々の事件。とびきり愉快で心あたたまる新シリーズ開幕！

著者略歴

新聞社、出版社勤務を経て、二児の育児のかたわら小説を執筆。恋愛、ホラー、ショートショート、実話怪談など、幅広いジャンルのアンソロジーに参加。現在2つの名義で活動中。
Twitter(@mza55ikeike)では、怪談・奇談・不思議な話の体験談を随時募集。「貴重な体験を活字に残してみませんか？」



『ペット可。ただし、魔物に限る』

松本みさを著
光文社文庫 726円
文庫書下ろし&オリジナル
初版発行2021年9月14日

松本みさを氏の別名義「松本エムザ」では実話怪談も執筆。
「実話異聞 貰い火怪談」32話 全部実話
あなたの近くに怪はある…



竹書房怪談文庫

チケットプレゼント 各10組20名

必要事項(応募申し込みはFAXか郵送、または店頭まで)

お名前:	
お住まい:	
ご連絡先:	ご希望のチケット番号:
お寄せの情報、または当紙の感想等:	
◆	
◆	
◆	
◆	
◆	

② さくら市ミュージアム
荒井寛方記念館
場所: さくら市氏家1297

① 小杉放菴記念日光美術館
場所: 日光市山内2388・3

招待券

応募期限:
2021年
10月20日まで

ひょうたん工芸・絵画 二人合わせて 165才夫婦展

宝積寺にお住まいの篠崎さんご夫妻が165才夫婦展を開催。俊夫さんはひょうたん工芸を45品、二千子さんは絵てがみ、植物画、色鉛筆画、パステル画を30点出品します。

期間: 10/21(木)~10/25(月) 入場無料
時間: 10:00~17:00 (最終日は16時まで)
場所: 栃木県総合文化センター (第二ギャラリー)

高根沢町文化祭

出展作品募集 10/27まで

部門: 木版画、手工芸、文芸、写真、書道、絵画
申し込み: ①事務局 028-675-3175 ②HP応募フォーム
詳細は町ホームページか事務局まで

